



【質問】新型コロナウイルス感染症の第3波が減少傾向にあるが、どのような

荒井代表代行が代表質問



取組が功を奏したのか。【知事】まずは県民・事業者にご協力をいただいたことだ。県は、医療非常事態宣言の発出や感染警戒レベルの対応を行い、経済活動への影響が最小限になるよう努めた。検査は、飲食店や施設従業員を対象に感染警戒レベル5の地域で集中的に行った。

【質問】77市町村のワクチン接種体制の整備状況は

2月定例会 県議

新年度予算などを可決 過去最大の予算規模

2月定例会県議会は、2月18日から3月17日までの本会議で、総額1兆423億円の令和3年度一般会計予算案、消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例

行われた役員改選により、常任委員会構成が別表のとおり決定しました。

【コロナ禍の暮らしと産業を支え抜く】

【大切な命を守り育む】

【デジタル社会の構築を進める】

【気候危機突破のため率先行動する】

【災害に強い地域社会と県土をつくる】

【副知事】ワクチン接種は2月17日から国主導の医療従事者の先行接種が始まったが、4月以降には高齢者、基礎疾患を有する方、高齢者施設の従事者へと進んでいく。2月19日時点では、4町村が医療機関での個別接種、27市町村が保健センターなどでの集団接種、46市町村が集団接種と個別接種の組み合わせで対応すること。【質問】台風災害などの振り返りから得られた教訓

【知事】単に「移住の促進ですよ」ではなく、長野

【知事】「マイ・タイムライン」作成への支援状況はいかがか。

【知事】避難対策や避難所の環境改善が重要だ。「逃げ遅れゼロ」を目指す避難対策の強化に取り組む。

【知事】「5か年加速化対策」を活用し、防災・減災対策を集中的に推進するとともに、地域支え合い

【知事】2050ゼロカーボンの実現に向け脱炭素社会の具体像やそこに至る工程はいかがか。

令和3年度 当初予算の姿

令和元年東日本台風災害からの復旧・復興が進捗し、国の5か年加速化対策活用分を令和2年度2月補正予算に計上したことから、投資的経費が減少した一方、引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応するための経費が大幅に増加したことなどから、令和2年度当初予算と比べ946億円の増となっています。

経費区分	義務的経費		その他の経費	
	人件費	公債費	補助費、物件費等	投資的経費
令和2年度当初予算	2,485	1,221	2,268	2,312
令和3年度当初予算	2,483 (▲2)	1,220 (▲1)	3,895 (+1,627)	1,621 (▲691)
通常分	4,907 (▲9)		5,516 (+937)	
増減率	+0.2%		+20.5%	

6月定例会日程(予定)

常任委員会等構成	委員	委員	委員
総務企画警察	小島 康晴	○花岡 賢一	
県民文化健康福祉	小林東一郎	○高島 陽子	
産業観光企業	寺沢 功希	池田 清	
農政林務	埋橋 茂人	熊谷 元尋	
危機管理建設	荒井 武志	続木 幹夫	
環境文教	○中川 博司	望月 義寿	
議会運営	小林東一郎	○寺沢 功希	
決算特別(内定)	荒井 武志	○埋橋 茂人	熊谷 元尋

▽6月17日 開会
▽22日～25日 一般質問
▽28日～7月1日 委員会審議
▽7月2日 閉会